

初秋の癒やし

「こんな汚い仕事やってられるかー」と腹を立ててしまった。今日はこの五の池小屋の、トイレのくみ取りの日なのだ。

この山小屋のトイレは環境に配慮して、し尿を垂れ流しにせず、タンクにくみ取ってヘリコプターでふもとに下ろしている。しかも、くみ取りはひしゃくを使つての人力が中心。重労働だ…。

さらに、よりによって今日はスタッフが休暇に入っていて、自分一人で作業をしなければならぬ。仕事を始める前から、僕はフリーズ状態である。気を取り直そうとコーヒーを入れ、小屋の前のベンチに座る。しばらくしてようやく顔を上げ、そして景色を眺めた。

山は今日も美しかった。静かであった。初秋、登山者の姿は少なく、話し声も物音も聞こえない。コーヒーカップをテーブルに置く音さえも山々に響きわたる。おそらく100m離れた場所からもこの音を聞くことができるだろう。そのくらい静かであった。

眼下には、夏に愛らしく咲いていた高山植物の花も消え、時折草たちが風になびいているだけ。ふとその瞬間、半ば投げやりだった当初の気持ちはいつしかどこかへ消し飛んでしまっていた。秋は心を落ち着かせる力があるようである。

(写真・文市川典司)

五の池
小屋たより